

総合講義 V

責任者・コーディネーター	神経科学講座 駒野 宏人 教授		
担当講座・学科(分野)	神経科学講座、分子生物薬学講座、臨床医化学講座、臨床薬剤学講座		
対象学年	6	区分・時間数	講義 18 時間
期 間	後期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

総合講義は、6年間の薬学教育の集大成を目指して、薬剤師法に規定される「薬剤師として必要な知識及び技能」の再確認を行う。総合講義Vでは、先端医療の基礎となる技術やその応用及びより実践的な薬剤師業務に関して各担当講座が分担して講義を行い、薬剤師及び薬学関連分野での専門職において必要とされる知識を復習する。授業内容は各講座間で効率よく配慮し、最終学年の限られた時間を有効に活用して薬学教育の総まとめとする。

・一般目標（GIO）

細胞生理学、神経科学、薬品化学Ⅱ、基礎分析化学、ゲノムサイエンス、遺伝子細胞工学、病態生化学、医療薬学、薬剤師業務等の内容を総合的に復習する。

細胞生理学、神経科学、薬品化学Ⅱの講義から、機能形態（細胞生理学）、中枢薬理（神経科学）、精神疾患と薬物療法（神経科学）、自律神経作動薬（薬品化学Ⅱ）について復習をする。

基礎分析化学、ゲノムサイエンス、遺伝子細胞工学の講義から、酸化・還元（基礎分析化学）、核酸代謝（ゲノムサイエンス）、遺伝子操作に使用される酵素（遺伝子細胞工学）などについて、総合的に復習を行なう。

医療薬学、病態生化学の講義内容から、心臓・血管系、消化器、呼吸器・胸部、血液・造血器、骨・関節、生殖器、神経・筋、皮膚、眼、耳鼻咽喉、内分泌、アレルギー・免疫の代表的疾患について、主に病理・病態、検査、治療に関する知識を復習する。

臨床薬剤学、調剤学、薬事関係法規等の講義及び実務基礎実習から、薬剤業務全般、チーム医療、地域医療と薬剤師の関連、薬剤業務に必須な関連法規について復習する。

・到達目標（SBO）

1. 生体内の器官の構造と機能及び内分泌系や神経系による生体の機能調節機構を説明できる。
2. 中枢神経系疾患の病態生理及び適切な治療薬とその副作用を説明できる。
3. 自律神経系及び中枢神経系に作用する薬物を整理し説明できる。
4. 酸化還元電位を理解し、酸化還元平衡と滴定を説明できる。
5. 核酸の分類及び核酸の生合成や分解の経路を説明できる。
6. 遺伝子操作に使用する酵素の性質や特徴を理解し説明できる。
7. 心臓・血管系、消化器、呼吸器・胸部、血液・造血器、骨・関節、生殖器、神経・筋、皮膚、眼、耳鼻咽喉、内分泌、アレルギー・免疫の代表的疾患について、病態生理、適切な治療薬及びその使用上の注意について説明できる。
8. 病院における薬剤業務と薬局における薬剤業務について説明できる。
9. 調剤の流れ、処方せん鑑査、疑義照会、調剤薬鑑査、調剤過誤等について説明できる。
10. 計数調剤、計量調剤について説明できる。
11. チーム医療に関連した医療法、健康保険法について概説できる。
12. 医療安全など、リスクマネジメントについて説明できる。
13. 医薬分業など、地域医療と薬剤師の役割を説明できる。
14. 薬剤師業務に必要な倫理と関係法規の関わりについて説明できる。

15. 薬剤師法、薬事法について概説できる。
16. 医療保険制度の現状について概説できる。
17. 医薬品の副作用救済制度やPL法について説明できる。
18. 麻薬、向精神薬、覚醒剤、毒物・劇物などの関連法規を概説し、代表的な医薬品を列挙できる。

・ 講義日程

(矢) 東 201 2-A 講義室、 (矢) 東 202 2-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
8/31	金	1	神経科学講座	駒野 宏人 教授	細胞生理学、神経科学、薬品化学Ⅱ (自律神経作動薬)の復習
9/6	木	1	神経科学講座	駒野 宏人 教授	細胞生理学、神経科学、薬品化学Ⅱ (自律神経作動薬)の復習
9/13	木	1	神経科学講座	駒野 宏人 教授	細胞生理学、神経科学、薬品化学Ⅱ (自律神経作動薬)の復習
9/21	金	1	分子生物薬学講座	前田 正知 教授	基礎分析化学、ゲノムサイエンス、遺 伝子細胞工学の復習
10/5	金	1	分子生物薬学講座	前田 正知 教授	基礎分析化学、ゲノムサイエンス、遺 伝子細胞工学の復習
10/12	金	1	分子生物薬学講座	前田 正知 教授	基礎分析化学、ゲノムサイエンス、遺 伝子細胞工学の復習
10/19	金	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授	病態生化学、医療薬学の復習
10/26	金	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授	病態生化学、医療薬学の復習
10/30	火	1	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授	病態生化学、医療薬学の復習
11/2	金	1	臨床薬剤学講座	高橋 勝雄 教授	臨床薬剤学、調剤学、実務基礎実習、 薬事関係法規の復習
11/7	水	1	臨床薬剤学講座	高橋 勝雄 教授	臨床薬剤学、調剤学、実務基礎実習、 薬事関係法規の復習
11/8	木	2	臨床薬剤学講座	高橋 勝雄 教授	臨床薬剤学、調剤学、実務基礎実習、 薬事関係法規の復習

・ 教科書・参考書等 (教 : 教科書 参 : 参考書 推 : 推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	New 薬理学 改訂第5版	田中 千賀子	南江堂 (定価 8,800 円)	2007
参	スタンダード薬学シリーズ6 「薬と疾病Ⅰ 薬の効くプロセス」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 5,600 円)	2005
参	スタンダード薬学シリーズ6 「薬と疾病Ⅱ 薬物治療(1)」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 5,300 円)	2005

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	病気がみえる vol. 7 脳・神経	医療情報科学研究所 編	メディックメディア (定価 3,800 円)	2011
参	スタンダード薬学シリーズ4 「生物系薬学Ⅰ 生命体の成り立ち」	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 4,100 円)	2005
参	薬物治療学	吉尾 隆 他	南山堂 (定価 8,800 円)	2011

・成績評価方法

出席状況、聴講態度、小テスト、レポート、定期試験等から総合的に評価する。